

2023年8月3日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社

JUNIPER 
driven by Mist AI

はじめに

- ❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

<https://www.mist.com/documentation/august-3rd-2023-updates/>

本ドキュメントは2023年8月時点のMist cloudのGUIを使用しております

- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等がございましたら担当営業までお問い合わせください

本リリースで追加された機能一覧

Simplified Operations

- RADIUS使用時のVLANプール割り当て
- ゲストユーザの無線LANリクエストに対する承認者の接続可否をゲストにメールで通知
- Live Viewでのクライアントの動線の改良

Marvis

- Zoomコールに関する調査とトラブルシューティング

WAN Assurance

- デフォルトWANエッジテンプレート
- SSRでのポートアグリゲーション

Wired Assurance

- AEインタフェース番号の範囲が0～255まで拡張

Behavior Changes

- チャネル144の設定に関する変更
- クラウドGlobal 02での、Webhookリクエスト時に使用する送信元アドレスの変更

Security Alerts

- CBCモードでの暗号スイート（Cipher Suite）のサポート終了

Simplified Operations

RADIUS使用時のVLANプール割り当て

VLAN

Untagged Tagged Pool Dynamic

Static VLAN ID ⓘ

999, 10, 20-30

(1 - 4094)

VLAN Type Airespace (airespace-interface-name) ▼

Dynamic VLAN ID	Interface Name(s)
30-40	students
99,100-102	guests

Add Rows

- WLANの802.1x認証において、RADIUSを用いたMACアドレス認証（RADIUS PSK）使用時にVLANプールを用いたVLAN割り当てが可能になりました
- 動的（ダイナミック）VLANが設定時にRADIUSサーバから返ってくるRADIUS access-acceptメッセージ内のVLAN名（Airespace-Interface-Nameまたは Tunnel-Private-Group-ID）をVLAN Poolに割り当てることができるようになります
- RADIUSサーバがaccess-acceptメッセージでVLAN属性を返さない場合は静的（Static）VLANにてVLANプールがサポートされるようになりました
- 以下の点にご留意ください：
 - Airespace、Standard VLANで静的（Static）VLANプールがサポートされます（左図）
 - RADIUSが割り当てる場合のVLANプールはAirespace VLANでのみサポートしています
 - Airespace VLANが設定されていても、RADIUS access-acceptメッセージでは Airespace-Interface-Name または Tunnel-Private-Group-ID AVPsでVLAN名を返すことが可能です
 - VLANを範囲、またはコンマで分ける記載方法をサポートしています（左図）
- 本機能はファームウェア 0.14.x 以降のバージョンでサポートされています

ゲストユーザの無線LANリクエストに対する承認者の接続可否をゲストにメールで通知

The screenshot shows the 'Guest Portal Options' configuration window with the 'Authorization' tab selected. Under 'Authorization Options', the 'Sponsored Guest Access' option is checked. Below it, 'Sponsor authorized domains' is set to 'gmail.com'. The 'Email guest when approved/denied' checkbox is checked and highlighted with a red box. Other options like 'Passphrase', 'Authentication code via Email', and various social sign-in options are visible but unchecked. At the bottom, there are fields for 'Devices remain authorized for' (1 Days) and 'Sponsor email request will remain valid for' (60 Minutes).

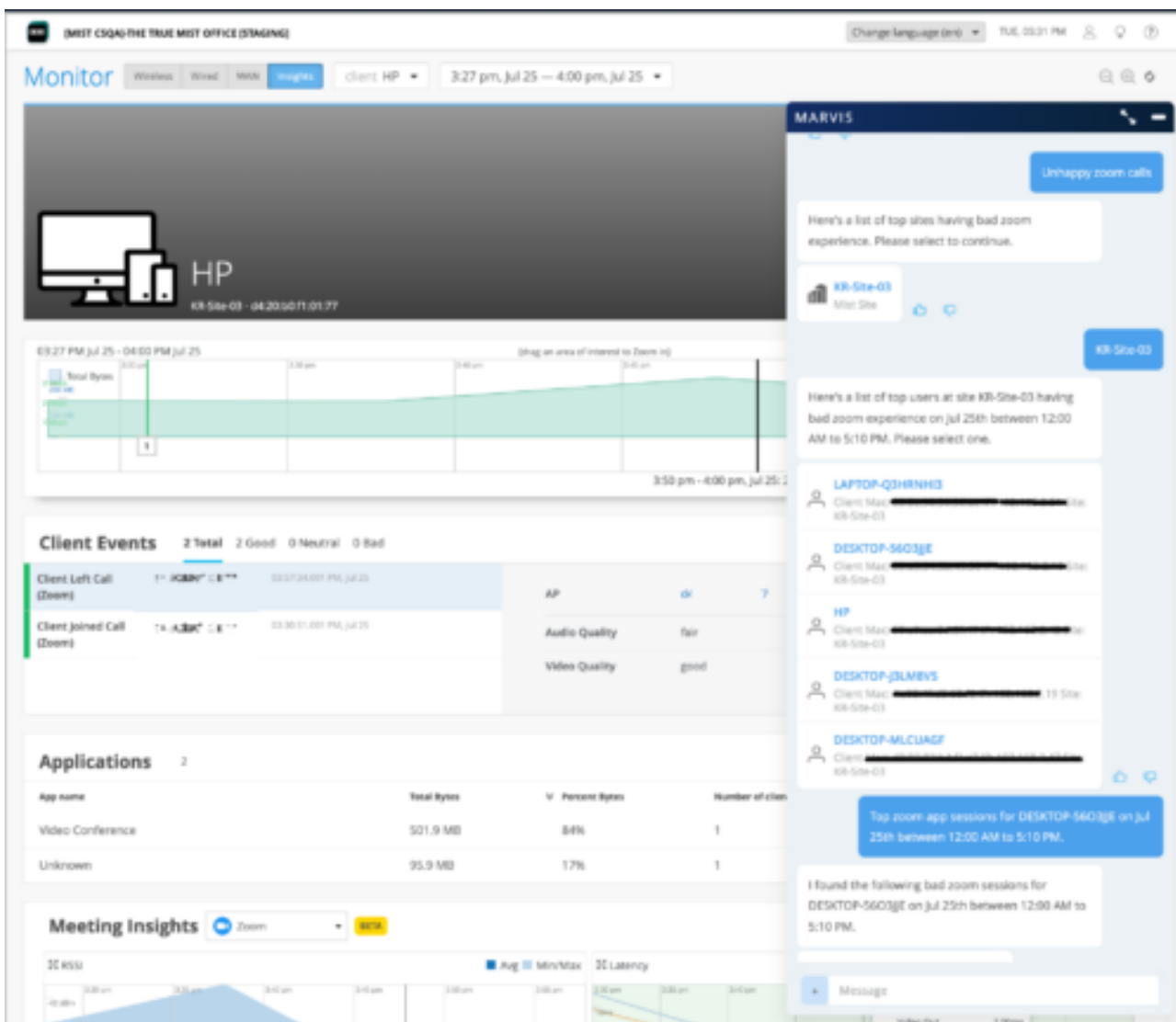
- Sponsored Guest Accessを承認方法として設定時に、ゲストユーザの無線LAN使用リクエストへの承認の可否の結果を、承認者が対応後にメールでゲストに通知します
- 以下の手順にて設定します
 1. Site > WLANにてSponsored Guest Accessを設定したいWLANをクリックします
 2. Guest Portal設定内の「Custom guest portal」のラジオボタンを選択します
 3. 「Configure Portal」をクリックし、「Authorization」タブをクリックします
 4. 「Sponsored Guest Access」を選択後、「Email guest when approved/denied」を選択します（左図）
- 「Email guest when approved/denied」はデフォルトでは設定されていません（Disabled）
- 送信されるメール内には以下の内容が記載されています
 - 承認可否、リクエストに対応した時間、承認が有効な期間

Live Viewでのクライアントの動線の改良

- Live Viewページ（Location > Live View）で確認できるクライアントの位置が、よりシームレスな動きになるように改良されました
- 以下のクライアントで対応しています
 - SDKクライアント（SDK Client）
 - 名前付けされたアセット（Named Assets）
 - 確認されたアセット（Discovered Assets）
 - 接続されたWi-Fiクライアント（Connected Wi-Fi Clients）
 - 接続が無くなったWi-Fiクライアント（Unconnected Wi-Fi Clients）

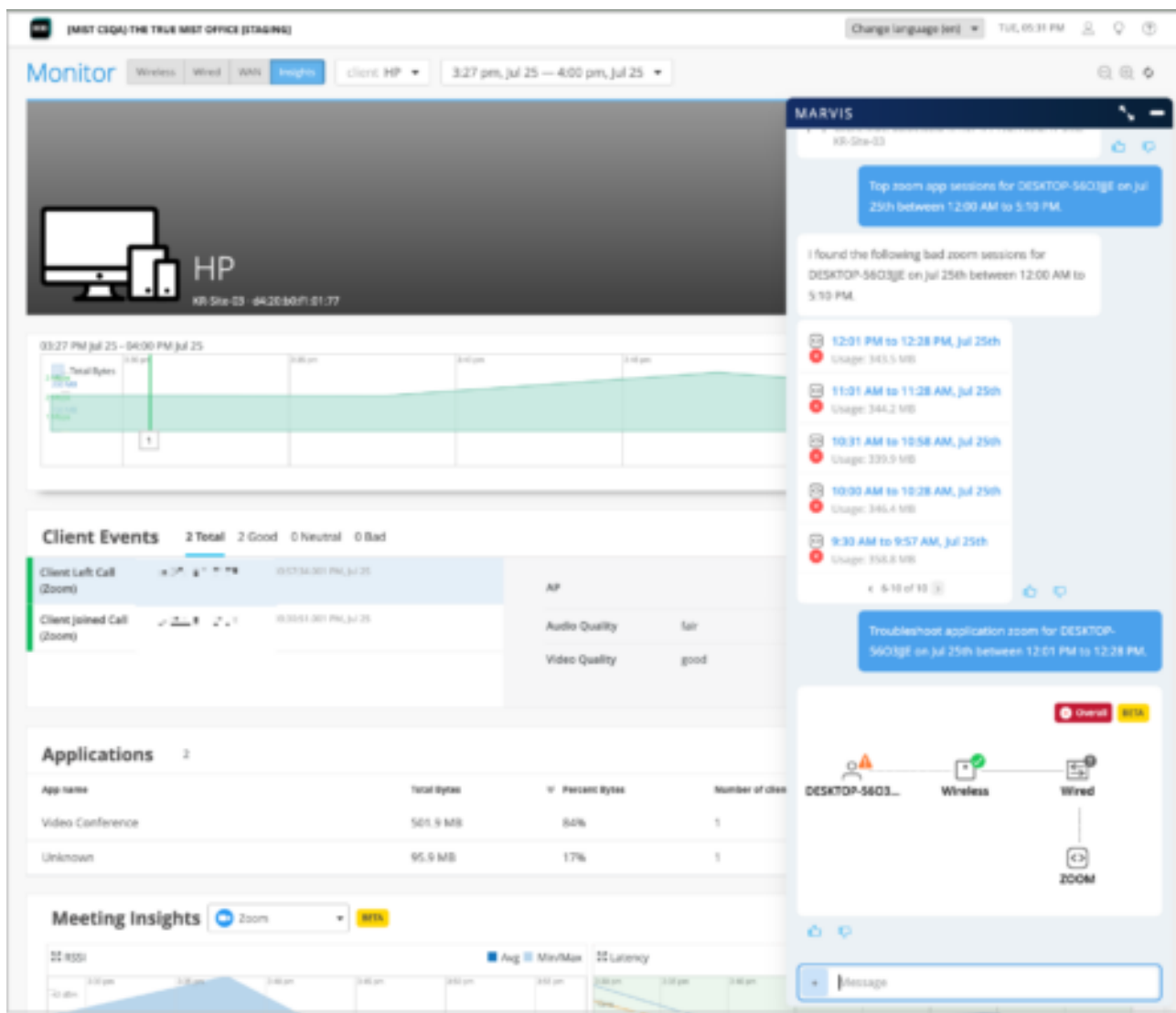
Marvis

Zoomコールに関する調査とトラブルシューティング



- Marvis仮想アシスタントにてZoomコールに関する調査と発生した問題のトラブルシューティングが実施できるようになりました（左図）
- 本機能の使用には、以下のいずれかの適用が必要です
 - MistクラウドでのZoomアカウントの設定（Zoomアカウントの設定機能は既にベータ版で提供済み）
 - OrganizationでSSR、またはSRX WANエッジを使用（ZoomアカウントがMistクラウドで設定されていない場合はSSR、SRXで得られるZoomデータを用いています）
- Zoomアカウントが設定済みの場合は、Zoomから取得したクライアント間のアプリケーションメトリックとネットワークメトリックをMeeting Insights（Monitor > Service Levelsページ）で確認できます
- Meeting InsightsはZoomコールが終了してから数時間後に更新されます

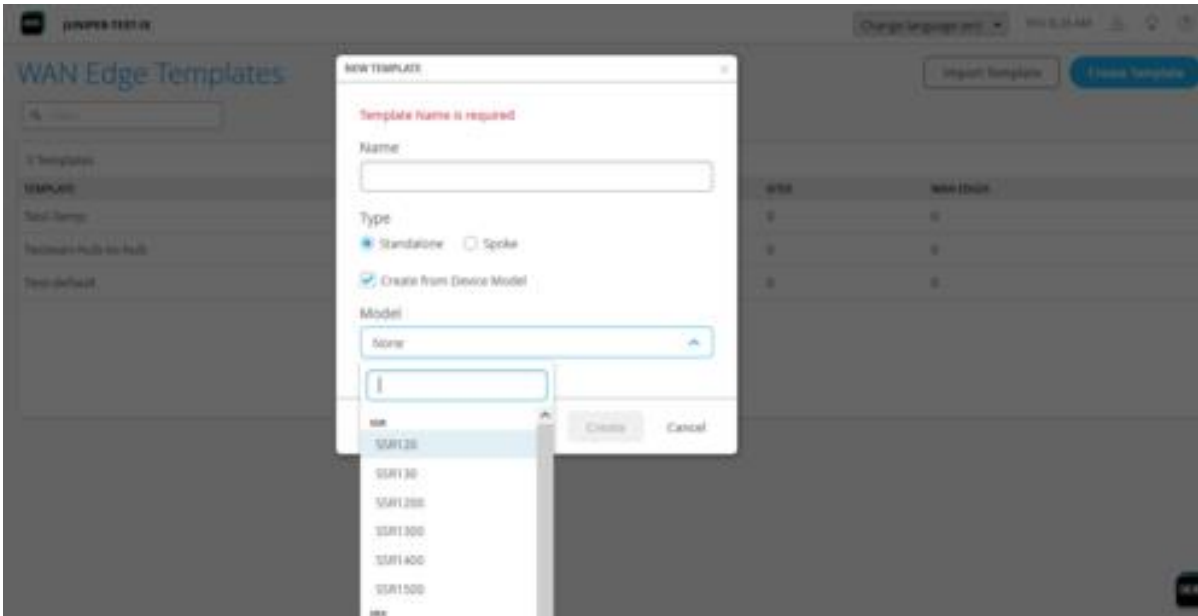
Zoomコールに関する調査とトラブルシューティング（続き）



- Marvis仮想アシスタントでは以下の調査が可能です
 - 全てのZoomコールをリスト表示
 - 問題のあったZoomコールをリスト表示
 - クライアントMACアドレス、ホスト名、サイト名を用いたZoomアプリケーションのトラブルシューティング（左図）
 - Zoomコールが発生してから7日間の間はトラブルシューティングが可能です

WAN Assurance

デフォルトWANエッジテンプレート



- 新規で機器を設置する際に、モデルごとに事前に生成された設定を用いてWANエッジテンプレートを作成することができます（左図）
- WNAエッジテンプレートは使用予定の機器のモデルを指定して作成します
 - 例：SSR120の場合、WANインタフェース（ge-0/0/0、ge-0/0/1、ge-0/0/2）、LANインタフェース（ge-0/0/3）にそれぞれ適した設定と、LAN→WANへのポリシーが生成されます
- ゼロタッチプロビジョニングを使用することにより、WANエッジのオンボーディング並びに設定が以下の3ステップに簡略化できます
 1. サイトを作成します
 2. 機器モデルを指定し、テンプレートを作成し、サイトに割り当てます
 3. WANエッジをクレームし、サイトに機器を割り当てます

SSRでのポートアグリゲーション

- SRXでサポートしていたポートアグリゲーション機能がWANアシュアランス機能の一部としてSSRでもサポートされました
- WANエッジテンプレートや機器の設定ページのWAN、LAN設定セクションに記載された「Port Aggregation」項目にて設定できます

Wired Assurance

AEインタフェース番号の範囲が0～255まで拡張

PORT CONFIGURATION

Port Profile Assignment
* Site, Template, or System Defined

Edit Port Range

Port Aggregation
 Disable LACP

AE Index: 249 (0 - 255)

ESI-LAG

Allow switch port operator to modify port profile
 Yes No

Port IDs
ge-0/0/24
(ge-0/0/1, ge-0/0/4, ge-0/1/1-23, etc)

Interface
 L2 interface L3 interface L3 sub-interfaces

Configuration Profile
AP default(1), trunk, edge

Enable Dynamic Configuration
 Enable "Up/Down Port" Alert Type **i**
Manage Alert Types in Alerts Page

- AEインタフェースに設定できる番号の範囲が0～127から、0～255に拡大されました
- AEインタフェース番号はキャンパスファブリックページ内の「Ports」タブ（Organization > Campus Fabric > Ports）で設定できます
- スイッチテンプレート内の「Select Switches Configuration」項目内にある、「Port Configuration」タブでも設定できます（Organization > Switch Templates）（左図）

Behavior Changes

チャンネル144の設定に関する変更

- 明示的に使用を設定できるようにしていた、サイト設定ページ（Organization > Site Configuration）での144チャンネルの使用設定項目が廃止され、RRMページでの設定に統合されました
- 他のチャンネルと同様にRRMによる144チャンネルの使用の可否を設定変更可能です
- 144チャンネルを使用しない場合、RFテンプレートまたはデバイスプロファイル内にある「Set allowable channels option」を選択後、144チャンネルのチェックボックスを外します

クラウドGlobal 02での、Webhookリクエスト時に使用する送信元アドレスの変更

- クラウド利用者のネットワークへWebhookリクエストを送る際に、MistクラウドGlobal 02は新しい送信元IPアドレスを使用します
- 新しいIPアドレスの範囲は以下となります
 - 34.94.226.48～34.94.226.63 (34.94.226.48/28)
- 上記範囲のIPアドレスを使用するのはMistクラウドGlobal 02のみとなります
- MistクラウドからのWebhookリクエストを受信できるように、ファイアウォールへIPアドレスを追加ください
- 上記IPアドレスは静的IPアドレスとなります
- 以前使用されていた送信元IPアドレス（34.94.120.8、35.236.34.24、35.236.92.224）は無効となり、使用されません

- 以下のサイトも併せてご覧ください

<https://www.mist.com/documentation/ports-enable-firewall/>

Security Alerts

CBCモードでの暗号スイート（Cipher Suite）のサポート終了

- Mistは当社のクラウドエンドポイントにおいて、暗号ブロックチェーン（CBC）モードを用いた暗号スイートのサポートを終了しました
- この暗号スイートはパディングオラクル攻撃などの攻撃を受けやすいことが知られており、データ漏洩などのセキュリティ問題につながる可能性があるためです
- 詳しい内容に関しましては以下のページをご覧ください

<https://www.mist.com/documentation/end-of-support-for-cipher-suites-using-the-cbc-mode/>

Thank you

JUNIPER 
driven by Mist AI